

WHILL利用での変化

ウィルを生活に取り入れてからは、通院や買い物に加え、近くの公園にも気軽に出かけられるようになりました。景色を眺めながら写真を撮ったり、絵画を楽しんだりしています。さらに、妻と昔よく出かけていた公園へ再び行くことを目標に、少しずつ外出の幅を広げています。

	週末の過ごし方	外出への心理的ハードル	行動意欲	人との交流
利用前	 自宅でテレビを見ながら過ごす	 妻に頼ることへの遠慮もあり、行きたいけど控えていた	 何かしたい・出かけたいたい気持ちはあってもあきらめる	 在宅が多く、妻との会話がメイン
利用後	 週末は写真撮影や絵画を楽しみながら、外で過ごす	 移動の不安が軽減し、一人でも気軽に出かけられるように	 行動意欲高 「まだまだできる」と自信につながり、新たな目標にも挑戦	 外出先で人と関わる機会が増え、妻と過ごす時間もより充実する

ウィル モデル シーケーライト

WHILL Model CK Lite

近距離モビリティ

免許不要、歩道での走行可能

介護保険制度でレンタルの場合
レンタル事業者へお問合せください

TAISコード 取得済
貸与マーク 取得済

こんな方におすすめ



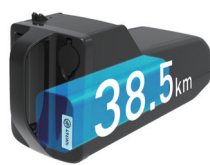
片手で簡単に
折りたためる

新開発の機構により、
片手で折りたたみが
可能になりました。



折りたたんで
転がして運べる

玄関や収納スペースでの
取り回しが楽に行えます。
狭い間口でも収納可能。



大容量バッテリーで
負担軽減

介護保険モデル標準搭載の
大容量バッテリーは
航続距離38.5km。
日々の充電作業の負担を軽減します。

駐輪場などの共用スペース*を活用した保管が可能



ガレージ



玄関の外



マンションの廊下



駐輪場

バッテリーのみ取り外して
室内で充電できます。
*保管については各管理会社へお問い合わせください。

電動車椅子ウィルとは

ちょっと速くのお気に入りのスーパーや図書館、公園、美術館まで。ウィルは「今日どこへ行こう」をかなえる電動車椅子です。誰でも簡単に運転できる操作性と、行く場所を選ばない小回り性能を備えています。介護保険レンタルにてご利用可能ですので、貸与事業者様にお問い合わせください。

ウィル

WHILL 株式会社  0120-696-527 平日 9:00～18:00
※通話料無料



ウィル

WHILLケアプラン vol.07

私らしい生活支援

作成:WHILL株式会社



WHILLケアプランとは…介護が必要になると、生きること（例：食事、排泄、移動、入浴）に手間や時間がかかります。しかし、生きることをサポートしてもらっても楽しくなるわけではありません。食事が楽しいのは「どんな時に・だれと・どこへ行って・いろいろなメニュー」を選ぶから。そこで必要になるのが「移動」。気がねせずに「好きな時に好きなところに」行けること。被介護者の「**私らしい生き方**」をどうサポートできるか。**WHILLを使ったケアプランで被介護者の「やってみたい」を応援します。**

今回の被介護者



Kさん **要介護1**

男性 / 70代後半 / 168cm・64kg

ご自宅生活中

- ☒ 脊柱管狭窄症がサルコペニアによる筋力低下がある。
- ☒ 10～20m程度の歩行で下肢のしびれ、痛みが現れる。
- ☒ ゆっくりとした歩行で、ややふらつきがある。
- ☒ 杖を利用しているが、外出時は妻の付き添いが必要。

Kさんの日常生活のポイント ☒

1 同居家族



奥様と二人暮らし

2 住居環境



マンションの3階に居住

3 現在利用中の福祉用具



1点杖

4 新たに利用する福祉用具



WHILL Model CK Lite

5 日常生活での楽しみ



趣味の写真撮影や
散歩が日課



定年後に習い始めた絵画をする
ために、公園へ出向く



夫婦で外出し、
景色を眺めながら過ごすこと

Kさんは、写真撮影や散歩を日課とし、定年後に始めた絵画のために公園へ出向くなど、外出を楽しみに生活されてきました。しかし、腰や背中神経の圧迫による痛みやしびれ、筋力低下の影響で長い距離を歩くことが難しくなり、ふらつきもみられるようになったため、現在は通院や最低限の買い物に限り外出しています。一方で、できる限り妻に頼りすぎず、自分の力で外出を続けたいという思いがあります。ケアマネジャーに相談し、自宅周辺でWHILL Model CK Liteを試したところ、懸念していた自宅前の段差を問題なく通過できたことから、屋外でも使いやすいと感じられました。さらに、**駐輪所がないマンションのため、玄関に収納できる点も決め手の一つでした。**

ご本人を知る～現状（WHILL利用前）

1. Kさんの性格・趣味・現状の生活を把握する



性格・職業歴	物静かで落ち着いた人柄だが、好きなことには意欲的に取り組む。 長年エンジニアとしてまじめに仕事を続けてきた経験から、今でも自分のことはなるべく自分で行いたいという気持ちが強い。定年後は写真撮影や絵画、散歩を楽しむ、夫婦で外出する時間も大切にしてきた。
趣味・こだわり	写真撮影や絵画、散歩を楽しみとしており、外の景色や季節の移ろいに触れる時間を大切にしている。 カメラなど身の回りの道具にも関心が高く、使いやすさや扱いやすさにもこだわりがある。夫婦で外出し、景色を眺めながらゆっくり過ごす時間も大切にしている。
疾患歴	●腰部脊柱管狭窄症により、腰から足にかけて痛みやしびれがあり、長い距離の歩行が難しくなっている。 ●筋力低下もみられ、歩行時にはふらつきがあり、外出時の移動に不安がある。 ●通院や買い物などで歩く際は、途中で休みながら移動することが増えている。 ●体力の低下を防ぐため、無理のない範囲で散歩や軽い体操を心がけている。
生活習慣	●食事は1日3食おおむね決まった時間にとり、体調維持のため食べ過ぎや塩分に気をつけている。 ●喫煙習慣はなく、飲酒も晩酌程度にとどめるなど、無理のない範囲で健康管理を意識している。 ●通院や買い物など必要な外出はしているが、長く歩くと痛みやしびれが強くなるため、途中で休みながら移動している。 ●体調のよい日は近所の公園や周辺に出て、景色を眺めたり写真を撮ったりして気分転換をしている

ケアプラン ～Kさんの意思・課題に沿ったサービス計画～

居宅サービス計画1

本人及び家族の生活への意向を踏まえた課題の分析の結果	＜利用者の意向＞これまでは写真撮影や散歩、定年後に始めた絵画のために公園へ出かけることが楽しみでした。今は腰や背中への痛みやしびれ、筋力の低下もあって長い距離を歩くことが難しくなり、外出は通院や買い物に限られています。それでも、できるだけ妻に頼りすぎず、自分の力で外出を続けていきたいと思っています。 ＜妻の意向＞一緒に外へ出かけて景色を眺めたりする時間が楽しみでしたが、最近は歩く痛みやしびれが強くなったり、ふらついたりすることがあるので、転ばないか心配です。私が手で押したり、機体を動かしたりするのもなかなか大変なので、無理なく、外出を続けられたらいいなと思っています。
----------------------------	---

居宅サービス計画2

生活全般の解決すべき課題（ニーズ）	援助目標				援助内容		
	長期目標	（期間）	短期目標	（期間）	サービス内容	サービス種別	（頻度）
妻と昔よく出かけていた公園へ再び一緒に行き、景色を眺めたり、写真撮影や絵画を楽しみたい	電車も利用しながら、景色のよい場所へ安全に外出し、絵画や写真撮影を継続できるようにする	6か月	ウィルの操作に慣れ、自宅周辺や最寄り駅まで安心して移動できるようになる	3か月	①ウィルの操作マニュアルの説明を受け、自宅周辺や駅までの移動練習を行う ②自宅周辺や最寄り駅までの移動練習を行い、段差や線路の溝などの通過に慣れる	本人/福祉用具相談員	週2回
			近隣の公園や外出先で、無理のない範囲で絵画を楽しめるようになる	3か月	①妻と一緒に近隣の公園などへ外出し、景色を眺めたり写真撮影や絵画を楽しむ機会をつくる ②使用状況を定期的に確認し、安全面や外出状況をモニタリングする	①本人/妻 ②ケアマネジャー/福祉用具専門相談員	①週1回 ②随時

居宅サービス計画3

週間サービス計画書

早朝	8:00	月	火	水	木	金	土	日	主な日常生活上の活動	
午前								喫茶店		起床
午後	10:00									
	12:00	通院		筋トレ		筋トレ				
	14:00								昼食	
	16:00	スーパーで 買い物	スーパーで 買い物	スーパーで 買い物	ウィルで 外出練習	スーパーで 買い物	ウィルで 外出練習	近所の公園で 絵画		
	18:00									
夜間	20:00								夕食・お風呂	
	22:00								就寝	

週単位以外のサービス	福祉用具（ウィル、杖）
------------	-------------

軽度者*に対する電動車椅子の貸与については、

「日常生活範囲における移動の支援が特に必要と認められる者」とケアマネジャー等**が判断した場合は、市町村への確認依頼は不要です。

*要支援1/2および要介護1と認定された方（軽度者）

**ケアマネジャーまたは地域包括支援センター担当職員

日常生活範囲における移動の支援が特に必要と認められる者は、主治の医師から得た情報および福祉用具専門相談員が参加するサービス担当者会議等を通じた適切なケアマネジメントにより、ケアマネジャー等が判断します。

***市区町村によっては医師の診断書の提出が必要な場合がございます

軽度者申請理由の例

変形性膝関節症により、立ち上がりや起床時に痛みがあり、

買い物などでの長時間の移動や荷物を持つての歩行の負担が大きく、休み休みとなっている。

膝への負担を減らしながら、自立的な日常生活を維持するために電動カート（電動車椅子）が必要である。